

令和 7 年 1 月 2 3 日

＜入札説明書、仕様書等に対する質問回答書＞

件 名

導入時脆弱性診断業務 一式

一橋大学「導入時脆弱性診断業務 一式」質問回答

No.	仕様書 ページ	仕様書 該当箇所	仕様書の記載内容	質問内容	回答
1	10	4.2.② 脆弱性診断の対象サイト	脆弱性診断を実施する画面については、対象サイト内で、Web アプリケーションによる動的な画面遷移を対象として診断を行う。 サイト数は FQDN 単位とし、診断対象のサイト数の内訳については表 4.2.2 に示す。 診断対象の画面数（リクエスト数）の上限は、リモートは 50 画面、オンサイトは 10 画面とする。	Webアプリケーション診断対象の画面数上限について、下記のどの認識が合っているか教えていただけますと幸いです。 ①全てのシステム合算での画面数がリモートが50画面、オンサイトが10画面 ②システム毎で、リモートが50画面ずつ、オンサイトが10画面ずつ ③サイト毎で、リモートが50画面ずつ、オンサイトが10画面ずつ	③の認識になります。 仕様書の記載内容はサイト毎の画面数の上限になりますので、Webアプリケーション診断対象の必須要件としての画面数上限は、合計500画面となります。 Webアプリケーション診断 10システム └リモート：7サイト（50画面 × 7 = 350画面） └オンサイト：15サイト（10画面 × 15 = 150画面） なお、加点基準を満たす場合の画面数上限は、合計550画面となります。